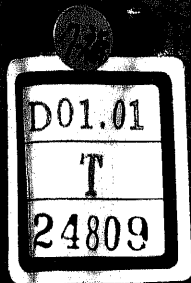
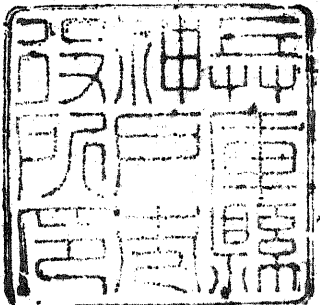


珍神
全五師文携種遺集

博士 田邊朔郎 編輯



— TANABE —
POCKET BOOK
FOR ENGINEERS



袖珍公式工師必携補遺篇 序

工師必携附言ニ本年十月ヲ期シ之ガ補遺一篇ヲ作ラシ
ヲ約シ爾來情ラズ漸ク其一半ヲ終リシニ近頃米國へ向ケ
出發セザルヲ得ザル用務アリテ爨ニ約セシトモ明年春期
歸朝迄見合セザルヲ得ザルトナレリ然ルニ既ニ添書ノ
終リシモノ集メテ凡百二十片紙アリ纏ムルニハ不充分ナ
レモ捨テ置クモ心ナラズアリシニ此度爨ニ編輯セルモノ
ノ第二版ヲ起スノ期ニ至リ書舖ノ乞フニ任セテ鶏肘ノ感
アリナガラ之ヲ梓ニ上ストナセルノ始末ヲ記スルト右
ノ如シ

明治廿一年七月

登録	昭和	56年	11月	12日
番号	第	24809	編者	鎌倉
社団法人	土	木	学	会
附属	土	木	学	館

凡例

一本篇中ニ用ユル一定ノ符號左ノ如シ
 人名ハ右側ニ一線 ステベンソン ワット
 物名ハ左側ニ一線 ヘンシル インスチチユーシヨ
 エキスプロシーブス

地名ハ右側ニ二線 ヘンシルバニヤ ロンドン
 官名ハ左側ニ二線 プロフェツサル ジエツラル

度量衡ノ語ハ半括弧「フート」
 「メートル」
 和訓ハ右側ニ假名 ^{アケコヤマ} 愛宕山 ^{ケタ} 栢
 譯語ニ原語ヲ假名ニテ附スルニハ左側トス

鉄管 ^{アイロンパイプ}
 砂石 ^{サンドストーン}

一總テ工事ニ要スル物料ニ於テ假令ハ鉄類ノ
 如キハ常ニ吋呎封度ヲ用ユルヲ多キヲ以テ
 英國尺度ヲ用ヒシモノモ併セテ記載セリ

目録

測量ノ部	片紙ヨリ	片紙マテ
海潮記事	一	二
海水深淺測量ニ於テ潮ノ干満ニ對スル差ヲ求ムル法	二	二
晴雨計ヲ以テ高低ヲ計ル法	三	五
清水沸騰點溫度ニ依テ高低ヲ求ムル法	五	五
地球圓弧及光線屈曲	六	七
三角測量ニ於テ基線ノ長ヲ海面上ニ變更算出スル法	八	九
高サヲ求ムル法	九	九
器械ヲ用シテ大略高ヲ求ムル法	一〇	一〇
地平線ノ低度及其距離	一	一
曲綫中心線布設ニ必要ナル角度	一三	一三
普通建築及物料強弱ノ部		
日本木材強弱	一四	一五
彈力	一六	一七
彈力基數表	一八	二一
鉄ノ性質	二二	二三
鉄ノ種類	二三	二三
鉄類ニ含有スル混リ物	二三	二四
鑄鉄	二五	二五
鍊鉄	二五	二七
銅鉄	二七	二八
銅	二八	二八
唐金	二八	二八
眞鍮	二八	二八
鉄類ノ腐朽防禦法	二九	二九

帶皮附 傳導馬力數ノ表	三〇	三四
調繩附 傳導馬力數ノ表	三五	三七
縮ノ強弱ヲ顯ハス表	三八	三八
同上目方ヲ示ス表	三九	三九
絞釘寸法記事及試験方法	四〇	四二
銅燒キ入レノ圖	四三	四三
鐘目ノ圖	四四	四四
銅鉛製管ノ目方ヲ顯ハス表	四五	四五
フランジ附鉄鐵管各部分比例表	四六	四七
鐵鏈ノ強弱目方	四八	四八
水道用鐵管續手ノ圖	四九	四九
鐵平物ノ目方ヲ示ス表	五〇	五〇
BWG鍊鐵針金番號直經切斷力ヲ示ス表附 同上銅眞鍮	五一	五二
安全定率及各種重力比例	五三	五三
物質自然傾斜角度	五四	五四
橫壓力ヲ受ケタル抑壁ノ寸法	五五	五六
合掌家根ノ組立ノ圖	五七	五七
梁材接合圖	五八	五八
道路及鐵道之部		
三呎六吋軌間日本鐵道建築寸法定規	五九	五九
同上單線掘割築立寸法	六〇	六〇
曲線ニ於テ外軌ノ内軌ヨリ高キ寸法	六一	六二
鐵道ニ於テ荷物ヲ曳ク可キ力	六三	六四
同上曲線ノ爲メニ要スル力	六四	六四
機關車ノ列車ヲ曳ク可キ力	六四	六五
列車運力表	六六	六六
各種鐵軌ノ寸法	六七	六七
各種隧道ノ形及記事	六八	七〇
各種隧道建築方法ヲ示ス圖	七一	七二

同上建築方法優劣比較	七三	七三
水理之部		
十五大家流水速力算定公式	七四	七八
同上用各種表	七八	八六
開門閉室ニ水ヲ入レル時或ハ之ヨリ水ヲ抜ク片要スル時間及水量	八七	八七
河川ニ於ケル障害物	八八	八八
水澆細織ノ圖	八九	八九
種々ナル水吐口ヨリ流出スル水量ヲ求ムル法	九〇	九〇
進流線ノ形狀	九一	九二
流水ノ壓力	九二	九二
管中ヲ流ル、流水速力水量勾配等ノ算式比較	九三	九三
屈曲管ニ於ケル流水ノ摩擦	九四	九四
流水々々量ヲ計ル法	九五	九五
噴水ノ高さ	九六	九六
堰堤ノ爲メニ遮ラル、流水ノ高さ	九七	九七
雜之部		
石灰石分析法	九八	九八
正弦余弦概表	九九	一一三